



エコアクション21

環境活動レポート

2019年度

期間2019年11月～2020年10月の実績

2020年11月



きれいな環境づくりのお手伝いをします

大分環境プレイヤー有限会社

目 次

	(ページ)
1. 環境方針	1
2. 事業概要	2～6
許可の内容	
施設・設備等の状況	
処理実績	
推進組織図	
廃棄物処分実績	
処理先フロー	
3. 環境活動の目標と取組結果	7～11
環境活動の目標と取組結果	
環境活動の取組結果	
環境教育の様子1	
環境教育の様子2	
環境への取組みの様子	
4. 環境活動の取組み結果の評価及び次年度の環境目標活動取組内容	12
5. 次年度の環境活動計画	14
6. 代表者による見直しの評価と指示	15
7. 環境関連法規の遵守結果及び違反・訴訟等の有無	15

大分環境プ라이어有限公司 環境経営方針

環境理念

私たちは、地球や地域の環境に配慮した環境経営に取り組んでいく事が環境の業に携わる業者としての責務と考え、社員全員がこの環境方針を周知し、廃棄物の適正処理をはじめ、省資源、省エネルギー、地域環境保全などの活動を通じて、環境コミュニケーションによる人間成長、地球環境にやさしい事業者を目指す事をここに誓約致します。

行動指針

当社は、廃棄物の収集運搬及び中間処理の業務を通じ、環境理念に基づき、社員ひとりひとりが「きれいな環境づくりのお手伝い」の精神で環境に配慮した社会のお役に立てられる以下の活動を継続的に取り組みます。

- 1 事業活動における各種環境関連法規を遵守します。
- 2 社員一人一人が使用量削減に向けて、燃料管理・P D C Aを積極的に実践します。
- 3 廃棄物削減の為に分別リサイクルと自社でのマテリアルリサイクル処理。
- 4 事務所、処理施設における電気使用量の削減に努めます。
- 5 上水道、地下水資源の節水の取組みと作業場における雨水の有効活用。
- 6 業務のなかで業務の効率化を図り、業務環境の整備・改善を推進します。
- 7 事業所周辺における地域環境保全活動を当社の重点活動として取組み、地域社会の環境美化の貢献とコミュニケーション推進。
- 8 環境にやさしい物品のグリーン購入の推進。
- 9 当社の環境への取組みをまとめた「環境活動レポート」をより多くの方々へ知っていただく為にホームページをはじめ、日々の事業活動で広く公開して行きます。
- 10 環境経営における活動を通して、更なる「会社」と「人」の質の向上に努めます。

2009年 8月 1日制定
2010年 11月 1日改定
2011年 11月 1日改定
2013年 11月 1日改定
2016年 11月 1日改定
2019年 11月 1日改定

大分県大分市大字大分5001番地

大分環境プ라이어有限公司

代表取締役 後藤 雅彦

2. 事業概要

- 1) 事業者名及び代表者 大分環境プライヤー有限会社
代表取締役 後藤 雅彦
- 2) 法人設立年月日 1993年 11月 1日
- 3) 所在地 〒870-0843
(本社) 大分県大分市大字大分5001番地
- 4) 環境管理責任者及び事務局 環境管理責任者 奥田 宏
E A 21事務局 生野 久美子
- 5) 連絡先 連絡担当者 奥田 宏
T E L : 097-544-0053
097-549-1300
F A X : 097-549-1310
E - m a i l : pliers@apricot.ocn.ne.jp
ホームページ : <http://www.oita-k-plier.com/>
- 6) 事業内容 本 社 大分市大字大分5001番地
経理・総務
賀来事業所 大分市大字賀来中尾9-1
一般廃棄物及び産業廃棄物収集運搬
産業廃棄物の中間処理
(選別施設・圧縮施設)
津守事業所 大分市大字津守字礪場
一般廃棄物 民間委託業務
産業廃棄物 中間処理
(破碎施設)
元町事業所 大分市大字大分5001番地
一般廃棄物 民間委託業務
- 7) 事業規模 資本金 5百万円
従業員 31名 (2019年度)
売上高 135百万円 (2019年度)
床面積 49.22m² (賀来) 10.4625m² (津守)
220m² (本社) 16.25m² (元町)
敷地面積 1,272m² (賀来) 642m² (津守)
919m² (本社・元町)

8) 事業年度

11月～翌10月

9) 優良性判断に係る情報公開

ア) 許可の内容

事業系区分	許可区域	年月日		許可項目	許可番号
一般廃棄物 収集運搬業 (事業系ごみ)	大分市	許可年月日	2020・4・1	事業系ごみ	4673
		有効年月日	2022・3・31		
		許可年月日	2021・4・1	特定家庭用 機器廃棄物	6409
		有効年月日	2023・3・31		
	由布市	許可年月日	2020・4・1	事業系ごみ	10
		有効年月日	2023・3・31		
産業廃棄物 収集運搬業	大分県	許可年月日	2019・1・12	燃え殻・汚泥・廃油・廃酸・廃アルカリ・紙くず・廃プラスチック類・木くず・繊維くず・ゴムくず・金属くず・ガラス・陶磁器くず・がれき類	04402013129
		有効年月日	2024・1・11		
	大分市	許可年月日	2019・1・22	燃え殻・汚泥・廃油・廃酸・廃アルカリ・廃プラスチック類・木くず・繊維くず・ゴムくず・金属くず・ガラスくず及び陶磁器くず・がれき類・紙くず	08810013129
		有効年月日	2024・1・11		
積替保管施設	大分市	許可年月日	2019・1・22	木くず・紙くず・廃プラスチック類・繊維くず・金属くず・がれき類・ガラス・陶磁器くず	08820013129
		有効年月日	2024・1・11		
産業廃棄物 処分業 (選別) (圧縮) (破碎) (圧縮梱包)	大分市	許可年月日	2016・10・26	廃プラスチック類・金属くず・ガラス及び陶磁器くず	08820013129
		有効年月日	2021・10・25		

イ) 施設・設備等の状況

・ 運搬車両の種類と台数 (2019年度)

許可車両	車 種	台数
運搬車両 合計22台	4 t 脱着装置付コンテナ車	1台
	3 t ユニックダンプ車	1台
	4 t 深ダンプ車	1台
	4 t 塵芥車 (回転式)	3台
	4 t 塵芥車 (プレス式)	2台
	3 t 塵芥車 (回転式)	11台
	4 t バキューム車	1台
	トラック (キャブオーバー)	1台
	軽トラック	1台
	その他車両	バックフォー
軽自動車 (営業車)		1台
普通自動車 (営業車)		1台

・積替保管施設の面積と保管上限量

所在地 大分県大分市大字賀来中尾9番1

面積 74.83㎡

容積 84.37㎡

産業廃棄物の種類 木くず、紙くず、金属くず、廃プラスチック類、繊維くず
がれき類、ガラスくず及び陶磁器くず
(以上7種類。ただし、石綿含有産業廃棄物を除く)

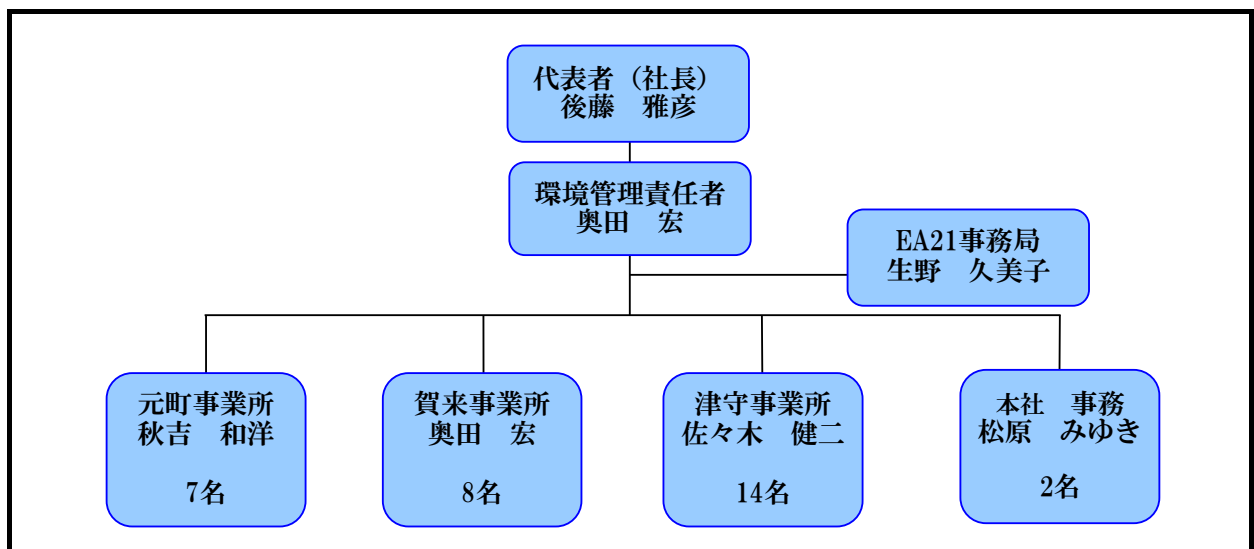
・処分施設の種類の

施設の 種類	設置場所	設置年月日	処理能力	廃棄物の種類	処理方式
選別施設	賀来事業所	2006・9・4	3.38 t /日 (8H/日)	・廃プラスチック類 ・金属くず ・ガラスくず及び 陶磁器くず	選別
圧縮施設	賀来事業所	2006・9・4	2.08 t /日 (8H/日)	・廃プラスチック類 ・金属くず ・ガラスくず及び 陶磁器くず	圧縮
破碎施設	津守事業所	2007・1・25	2.4 t /日 (8H/日)	・廃プラスチック類 ・ガラスくず及び 陶磁器くず	破碎
圧縮梱包 施設	賀来事業所	2016・3・24	3.96 t /日 (8H/日)	・廃プラスチック類 ・金属くず	圧縮梱包

ウ) 処理実績

・別紙資料参照 5ページ

エ) 推進組織図



廃棄物処分実績

産業廃棄物（単位：トン）

処分方法等	廃棄物等種類	処分方法	処理量 t (2019年度)
収集運搬	汚泥	/	58.96
	廃プラスチック類		456.49
	木くず		345.39
	金属くず		406.71
	ガラスくず及び陶磁器くず		76.57
	がれき類		54.57
	水銀使用製品		11.63
	混合廃棄物		2.79
収集運搬量合計			1,413.11
中間処理	廃プラスチック類	選別	75.94
	金属くず	選別・圧縮	81.58
	ガラスくず及び陶磁器くず	選別	30.83
中間処理小計			188.35
内資源化	廃プラスチック類	選別・破碎後圧縮固化	29.09
	廃プラスチック類	破碎後原料化	18.79
	廃プラスチック類	選別後原料として再利用	5.33
	金属くず	選別・破碎原料化	63.49
	金属くず	選別・圧縮後原料化	18.09
	ガラスくず及び陶磁器くず	破碎・再生	3.46
再資源化等量小計			138.25
中間処理後の 産業廃棄物	廃プラスチック類	埋立（委託）	22.73
	ガラスくず及び陶磁器くず	埋立（委託）	27.37
最終処分量合計			50.10

一般廃棄物（単位：トン）

処分方法等	廃棄物等種類	処分方法	処理量 t (2019年度)
収集運搬	可燃ごみ	焼却（熱回収）	9,216.66
	不燃物	原料として再利用	506.02
	ダンボール・古紙類	原料として再利用	249.84
	金属くず・ガラスくず	原料として再利用	2,270.08
収集運搬量合計			12,242.60

処理先フロー

軟質プラ・木屑・紙くず・瓦礫
硬質プラ・金属くず・ガラスくず及び陶磁器くず・布くず
缶・ビン・ペットボトル

自社にて選別

金属くず

廃プラスチック

石膏ボード類

混合廃棄物

再生品
製鉄原料

中間処理破碎後
再生及び最終処分

破碎・
中間処理

ガラスくず及び
陶磁器くず

瓦礫類・
コンクリートがら

木くず

木くず

繊維くず

破碎・再生
最終処分場

中間処理破碎後
燃料・原料化

固形燃料化
代替燃料

缶

ビン

ペットボトル

廃プラスチック類

弊社プレス機にて
圧縮

弊社
磁選機選別

弊社圧縮梱包機にて
圧縮・梱包

弊社圧縮梱包機にて
圧縮・梱包

売却

再生

売却

売却

製品原料

製品原料

製品原料

製品原料として出荷

製品原料として出荷

廃棄物の種類ごとに適正処理～リサイクルに努めております。

3-1. 環境活動の目標と取組結果

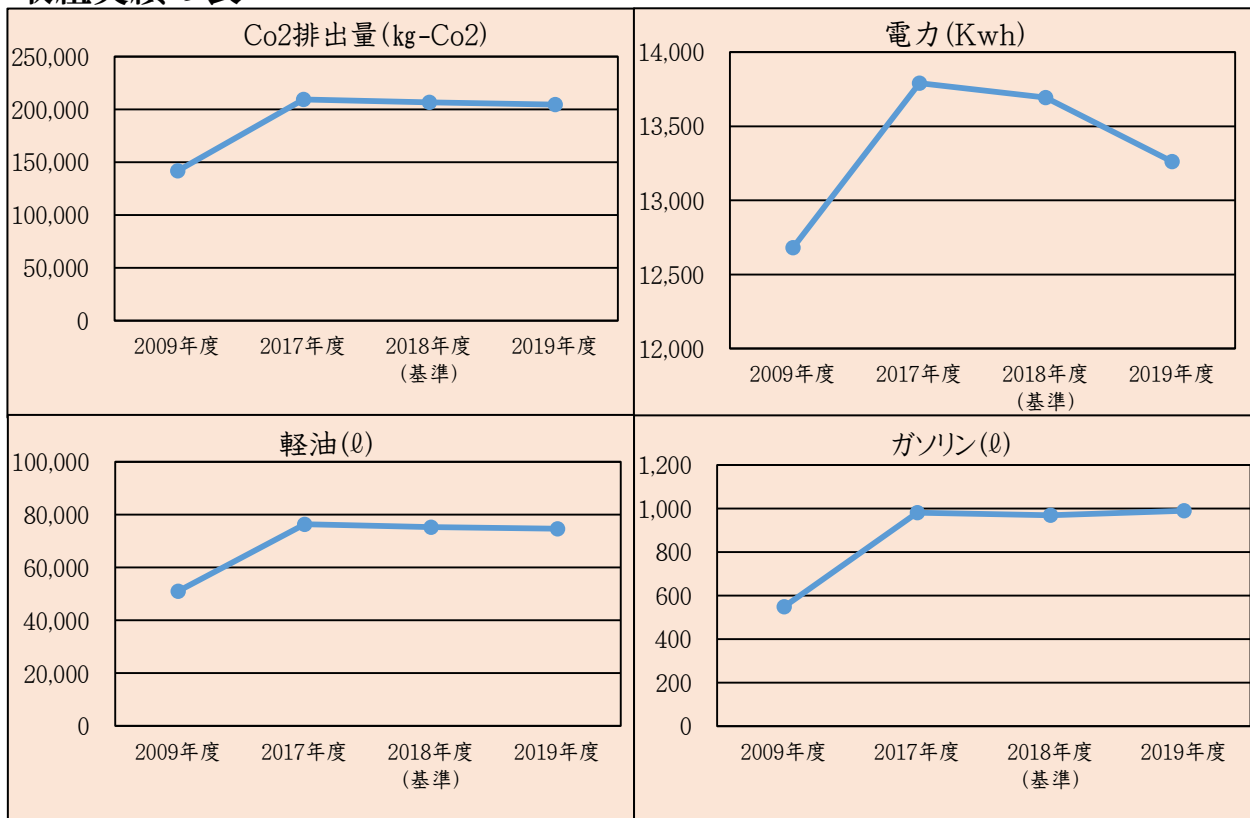
目標と取組み結果		2009年度 (EA-21取組み時)	2017年	2018年度	2019年	2020年度	
収集運搬量(t)		3,734.4	12,273.7	12,242.1	13,655.7		
Co2	目標	Co2排出量(Co2-kg)	165,264	207,361	207,753	204,425	200,684
	実績	Co2排出量(Co2-kg)	139,443	207,162	204,357	202,696	
		収集運搬量に対する排出量(Co2/t)	37.340	16.879	16.693	14.843	
電力	目標	電力使用量 (kwh)	14,955.0	13,313.5	13,871.3	13,734.6	13,130
		Co2排出量(Co2-kg)	5,189	4,620	4,813	4,766	4,556
	実績	実績 (k w h)	12,681.0	13,790.1	13,692.7	13,217.3	
		収集運搬量に対する使用量(kwh/t)	3.396	1.124	1.118	0.968	
軽油	目標	軽油使用量(ℓ)	60,201.0	76,257.5	76,333.3	75,315.9	73,991
		Co2排出量(kg-Co2)	157,727	199,795	199,993	197,328	193,856
	実績	実績 (ℓ)	51,056.6	76,374.6	75,326.3	74,738.1	
		収集運搬量に対する使用量(ℓ/t)	13.672	6.223	6.153	5.473	
ガソリン	目標	ガソリン使用量(ℓ)	1,012.0	1,270.0	1,270.0	1,005.0	980
		Co2排出量(kg-Co2)	2,348	2,946	2,946	2,332	2,273
	実績	実績 (ℓ)	549.1	981.00	970.00	989.50	
		収集運搬量に対する使用量(ℓ/t)	0.147	0.080	0.079	0.072	
最終処分量 (リサイクル率)		47.90t	85.71%	85.71%	83.00%	78.30%	
水資源	本社	水使用量(ℓ)	節水の心がけ	節水の心がけ	節水の心がけ	節水の心がけ	節水の心がけ
	目標 (賀来)	水使用量(ℓ)	217.80	116.00	122.00	133.00	152.96
	目標 (元町)	水使用量(ℓ)		6.50	6.00	6.00	4.23
	目標 (津守)	水使用量(ℓ)		洗車時間の 短縮	洗車時間の 短縮	洗車時間の 短縮	洗車時間の 短縮
	実績 (m ³)		169.5	114.8	127.9	158.8	
	収集運搬量に対する使用量(m ³ /t)		0.045	0.009	0.010	0.012	
グリーン購入			44個/年	43個/年	43個/年	43個/年	
収集運搬総量 (t)		3,734.39	12,273.65	12,242.14	13,655.71		

係数0.347 2018年度(調整後係数 九州電力)

3-2. 環境活動の取組結果

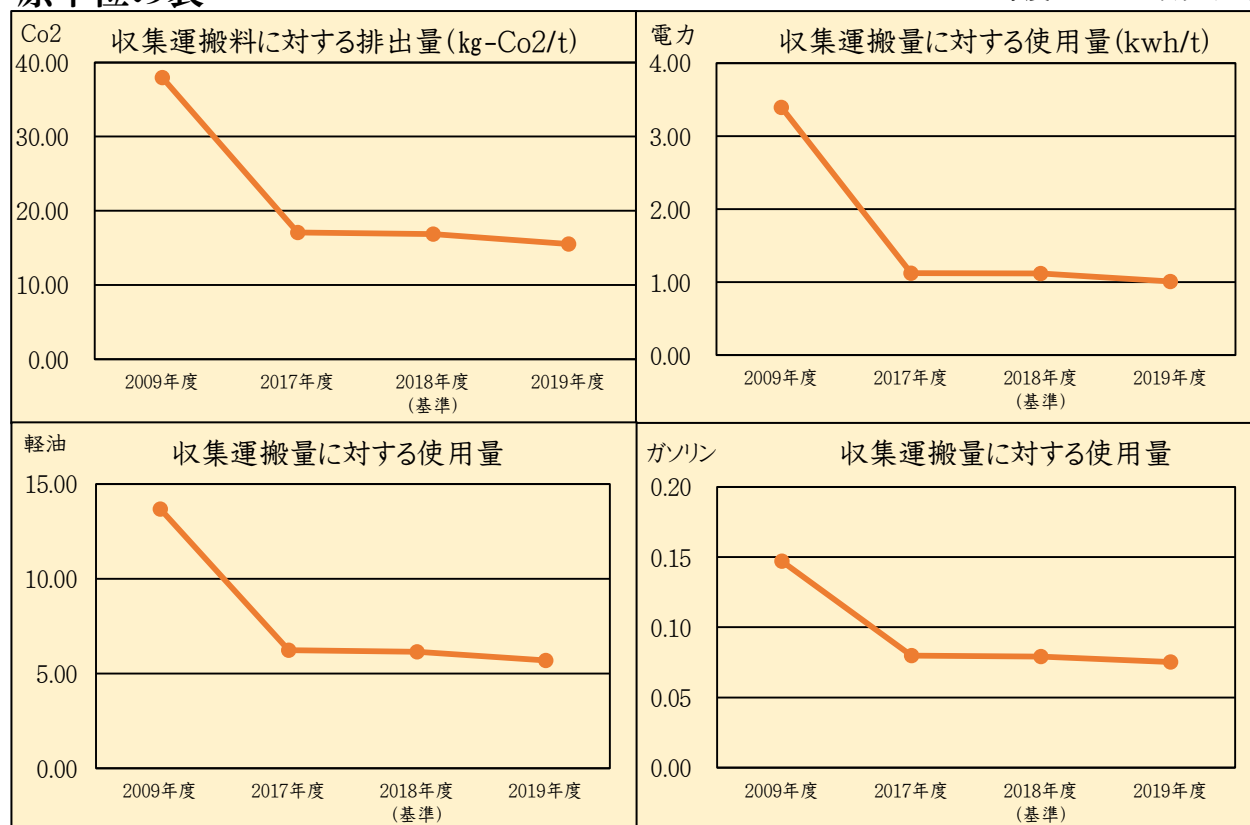
取組実績の表

2009年度はEA-21取組み時



原単位の表

2009年度はEA-21取組み時



環境教育の様子1

賀来事業所で、2020年3月に「建廃作業における注意点」と、排出事業者さまへ向けての「事業系一般廃棄物・産業廃棄物 定期ルート回収における注意点」と、2つのテーマで教育を行いました。建廃作業の注意点は、基本となる作業の確認等、資料を用意し、細かく説明を行いました。排出事業者さまへ向けての教育では、昨今の情勢により処分単価の高騰が続いているので、別料金対応をどのようにしていか教育を行いました。

①②③は「建廃作業に～」の教育写真 ④⑤⑥は「事業系一般～」の教育写真



①安全管理、安全運転についての説明



②各種作業における注意点の説明



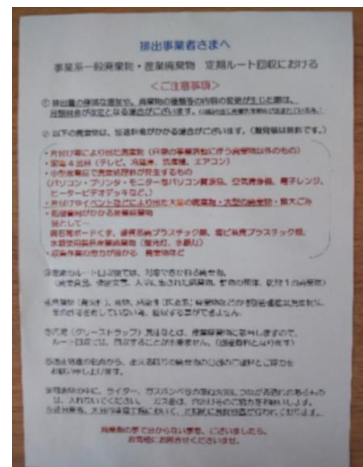
③お客様への対応における注意点の説明



④資料を用意しての説明



⑤回収出来る物、出来ない物も説明。特に危険物の扱いには注意が必要です。



⑥資料に沿って説明し、皆がお客様目線で対応出来るように教育を行いました。

環境教育の様子2

賀来事業所で、2020年4月に「感染症予防対策」と2020年6月に「熱中症対策」の2つのテーマで教育を行いました。「感染症予防対策」は、コロナウイルス対策と、衛生面の良くない廃棄物を扱う事も多くあるので、基本的対応策をまとめ、徹底していくよう説明しました。

「熱中症対策」は収集時における注意点、場内作業時における注意点を説明し、様々な道具を活用し、対応するよう説明しました。

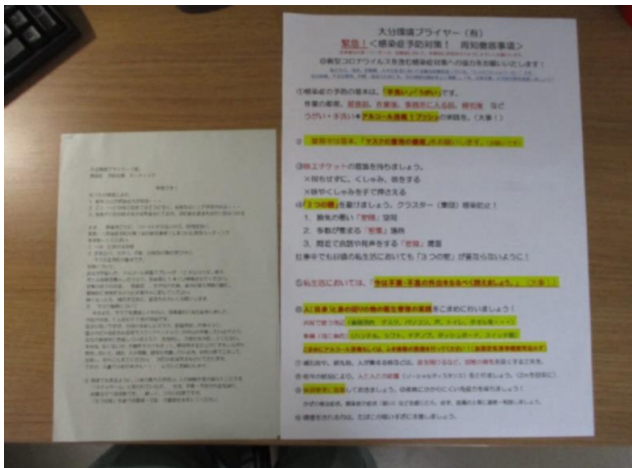
①②③は「感染症予防対策」の教育写真 ④⑤⑥は「熱中症対策」の教育写真



①コロナウイルス対策を中心に説明



②出社時の体温計測から感染対策を行います。



③基本対策をしっかりと!!



④炎天下での作業になるので、各自対策をしっかりと



⑤様々な対策品を用意したので、活用するよう説明



⑥皆が安全で、何事も無いよう、しっかりと教育を行いました。

環境への取り組みの様子

近隣地域のゴミ拾い活動。今年度も多忙を極めましたが、月の第4土曜日に行うよう心掛けました。
活動中に、近隣住民の方から声を掛けて頂く事もあり、地域の美化に貢献出来ている事を実感出来ました。
草刈活動も夏場になる前に活動を行いました。今後も地域の美化に貢献していきます。



①法面の草刈活動は安全第一で!!



②水路に流れないように2名体制で行います。



③作業場から廃棄物が飛散していないか、広範囲



④落葉が多い所は掃き清掃を行ってます。



⑤ガードレール下はゴミが多く捨てられています。



⑥一回の活動で多くのゴミを拾います。不法投棄、ポイ捨てが無くなればと思います。

4. 環境活動の取組み結果の評価及び次年度の環境目標活動取組内容

1. 二酸化炭素排出量

	排出量	1.電気使用量	2.ガソリン使用量	3.軽油使用量
基準値(2018年度)	204,357kg-Co2	13,692.7kwh	970.0kwh	75,326.3kwh
目標値	204,425kg-Co2	13,734.6kwh	1,005.0kwh	75,315.9kwh
実績	202,696kg-Co2	13,217.3kwh	989.5kwh	74,738.1kwh
達成率	100.85%	103.77%	101.54%	100.77%

1.電気使用量

年間を通して目標をクリア出来た。事業所別では、賀来事業所はコロナウイルス対策に左右される内容となった。年間を通して、コロナウイルス対策で、窓を開けた状態でエアコンを使用した結果、大幅な電気の使用となった。使用しなくて良い時は、使用しないように努めたが、大きな削減には繋がらなかった。又、津守事業所でペットの破碎を行っていたが、賀来事業所の圧縮梱包機での作業に移行した為、作業面では効率化が進み良かったが、電気の使用面では増加という形になってしまった。

元町事業所は、クリア出来ている月が多かったが、年間目標ではクリア出来なかった。夏場の熱中症対策として、普段は使用していない冷蔵庫を使用した結果が、クリア出来ない要因となった。前年同様、使用頻度の少ない電化製品の待機電力をカット、又、事務所を使用する時間が他事業所に比べ短いため、通年通し、エアコン使用を極力控え、削減に努めたが、結果には繋がらなかった。

津守事業所は、ペットボトルの破碎を行っていたが、賀来事業所で圧縮梱包機による作業に移行した為、電気使用量が少なくなりクリア出来た。事務所内での使用、車輛の洗車・洗浄に使う高圧洗浄機等、限られた電気使用となったが、来年度も削減意識はしっかりと持って取組んで行く。

2.3.ガソリン・軽油使用量

ガソリン・軽油共にクリア出来たが、事業所別で見ると、賀来・元町事業所がクリア出来なかった。

賀来事業所は収集量の多い作業、遠方での作業等、作業状況に左右される結果となりクリア出来なかった。

元町事業所はコロナウイルスの影響で外出自粛要請もあり、収集量が一気に増加、クリア出来なかった。

津守事業所は新設のステーションが増加傾向にあったが、効率良く収集を進めてクリアが出来た。

コロナウイルスの影響も今後も続くが、夏場と年末の削減に努めてもらえれば、結果として目標をクリア出来ると思う。

2. 廃棄物の再資源化

	再資源化率	月のリサイクル品目、処分状況に大きく左右されるが、廃プラ電気部品が世界情勢の影響で、リサイクル品目で処理が出来なくなったのが、大きな要因ではある。各々が適正分別を行い、リサイクル率を上げられるよう取り組んで行くが、次年度の目標値は見直したい。
基準値	81.10%	
目標値	83.00%	
実績	77.52%	
達成率	93.40%	

3. 水使用量の削減

	水使用量	賀来事業所での場内作業に使用していた雨水が、高圧洗浄機故障の原因となったので、上水を使用するように変更した為、全体での使用量増加に繋がった。熱中症対策での冷風扇使用、散水、又、コロナウイルス対策での、事務所、車輛の洗浄等、年間を通して使用増となり、年間でクリア出来なかった。
基準値	138.0ℓ	
目標値	139.0ℓ	
実績	158.8ℓ	
達成率	85.76%	

4. グリーン購入

	購入数	年間目標をクリア出来た。グリーンマークの物を購入するなどし、より環境に優しい物の購入に努めたが、今季はコロナウイルス対策品を多く購入する結果となった。使用頻度も多く、常に購入するようになり、結果、年間でのクリアに繋がった。
基準値	30個	
目標値	43個	
実績	61個	
達成率	141.86%	

次年度環境目標はP7に示す

5. 環境教育の取組み

5.1 建廃作業における注意点

- ・作業を行う為の道具の準備
- ・重機、クレーン作業時の注意
- ・お客様目線での対応
- ・場内の廃棄物の管理、整頓整頓（4S）
- ・廃棄物の片付け方 等

建廃作業は様々な作業を行う為、各作業の注意点をまとめ、資料を用意して、教育を行った。

結果、作業の効率化、作業時での危険回避等の効果に繋がった。

5.2 事業系一般廃棄物・産業廃棄物 定期ルート回収における注意点

- ・月の収集量の増加による料金改定
- ・家電4品目、小型家電の別料金対応
- ・処分単価の高い廃棄物への料金対応
- ・危険物、液物等の廃棄物の回収説明 等

排出事業者様への廃棄物の排出時の注意点、お願い事項をまとめた資料を作成。資料に沿って、教育を行った。

結果、お客様目線での対応が各自しっかり出来るようになった。

5.3 感染症予防対策

- ・手洗い、うがい、アルコール消毒の励行
- ・作業中のマスク着用
- ・3密回避
- ・体調管理の徹底 等

コロナウイルスを含む感染症対策として、考えられるリスクを回避出来るよう、対策内容を周知徹底。感染予防対策を徹底して行う事で、少しでも社会貢献出来るよう、教育を行った。

結果、感染症の怖さを改めて認識出来、各自が率先して予防対策を行うようになった。

5.4 熱中症対策

- ・各種熱中症対策品の使用と活用方法（冷風扇・アイスバッグ・テント等）
- ・熱中症になった時の緊急手当て対応手順 等

熱中症予防対策を中心として、資料をまとめ、作業中に熱中症にならないよう、作業の合間に必ず水分・塩分補給、小休憩を取るよう教育を行った。又、オーバーペースにならないよう教育を行った。結果、各自が熱中症予防を率先して行うようになった。

5. 次年度の環境活動計画

	項 目	責 任 者		
		賀来事業所	元町事業所	津守事業所
1.	二酸化炭素排出量の削減			
	①電気使用量の削減			
	・未使用区域の電気消灯の徹底で従業員の意識向上	生野	柳井	首藤
	・電気器具、換気扇等の不使用時停止	生野	柳井	首藤
	・室内温度状況に見合った冷暖房器具の使用	生野	柳井	首藤
	②燃料使用量の削減			
	・社員へのエコドライブの啓発活動 定期	山崎	秋吉	●
	・配車の検討、ルート収集検討 必要時	奥田	秋吉	●
	・車両の燃料使用量のチェックと、走行メーターチェック 毎月	山崎	秋吉	●
	・燃料使用量削減目標管理表の管理	奥田	秋吉	●
2.	廃棄物の分別徹底による再資源化率の向上			
	・リサイクル率の把握・毎月の処理状況をチェック 毎月	奥田		
	・収集ルート時の分別回収の取組・お客様への提案	山崎		
	・事務所より出される廃棄物の分別徹底 定期	生野	工藤	●
	・裏紙の有効活用～裏紙の確保	生野・松原	秋吉	●
	・場内片付け廃棄物の管理、社員への選別の啓発活動 定期	小島	工藤	三浦
	・廃プラ・金属・雑品・コンテナの管理	山崎		
3.	水資源使用量の削減			
	・車両の洗車記録の確認、点検表の啓発 定期	朝久野	柳井	首藤
	・洗車時間の短縮・水使用量削減の啓発活動 定期	朝久野	柳井	出来本
	・水漏れ防止点検 定期	朝久野	柳井	落合
	・雨水の有効活用と、雨水貯留タンクの管理 定期	朝久野		
	・洗車排水槽定期清掃 定期	朝久野		●
4.	グリーン購入			
	・エコマーク商品の購入	生野	秋吉	●
	・詰替商品の購入	生野	秋吉	●
5.	環境教育の取組み			
	・従業員への社内教育の実施 年2回(2・9月)	奥田		佐々木
	・環境美化活動毎月スケジュール等段取り 毎月	麻生	工藤	●
	・近隣地域のごみ拾い活動 作業段取りと道具準備 毎月1回	麻生	工藤	●
	・環境美化草刈活動 作業段取りと道具準備 年3回(5・7・9月)	麻生	工藤	●
	・事業所場内の美化、5S活動 定期	小島・麻生	秋吉	大石
	・事務所周りの清掃(トイレ含む)、環境美化の取組み	小島		大石
	・エコアクションタイムの実施(週1回)	小島・麻生	秋吉	●

6. 代表者による見直しの評価と指示

2019年度の取り組み、皆さん大変お疲れさまでした。結果的には、各取り組み事項を概ね達成できたものの、業務の多忙や、慢性的な人手不足から、環境管理責任者をはじめ、本来の環境マネジメントシステムの構築を計画通りにできなかった事を反省点として、改めて、意識改革を図り、日々の業務の中で、必要な取り組みや、改善、教育の必要性などを感じ取りながら、PDCAを実践し、エコアクション21の取り組みをすこしづつでも実践していく事で、安全に、会社の質・社員の成長の向上、そしてお客様から信頼される喜んでいただけるお仕事に向けて、再構築して参りましょう。

7. 環境関連法規の遵守結果及び違反・訴訟等の有無

「環境関連法規への違反・訴訟等はありません。尚、関係当局の違反・訴訟等の指摘は過去3年間ありません」